

対称スリットバスレフ テレスコ 3 号機

前年の 2 号機に続き伸縮式の容積可変、上下左右対称スリットバスレフ「テレスコ」の 3 作目です。前作の二つの大きな問題点を対処して、またプロトタイプで実験した前後逆形態を実験します。
ユニットは断線修理したカーオーディオ用を使用します

**2 号機の問題点とその対策

1. 正面の縦横に対し奥行きが短くスリット長さが短く、スリット間隙が小さかった。
→ 外箱、内箱を縦横奥行きほぼ同一のキューブ形状とし、小型だったプロトタイプと同様にした。
2. 板材の強度不足により目的の低音再生に問題を生じた。
→ 2 号機は 12mm 厚の合板、パーティクルボードだったが 3 号機は 18mm パイン材、合板とし、内外箱の強化をした。

**前後逆形状

ユニットの取り付けは前後ともサブバッフル式で交換可能とし、ユニットの無いほうはメクラ蓋で閉じる。

**ユニット

ケンウッドのオーバル型コアキシシャルのウーハー側断線故障品を修理してフルレンジ化したものを聞きます。リファレンスに東京コーン F77、¥150 ユニットも時間あれば試します。

今回のテレスコ 3 製作、ユニット修理記事詳細内容はブログ「おおたんの自作オーディオ・カイト・SVX」にあります

